

埋文ふじのみや

MAIBUN

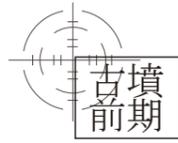
Vol.10



台付甕と壺（神祖遺跡出土）

『埋文ふじのみや』vol.10 突破を記念し、みなさんにクイズです。富士宮市内に遺跡はいくつあるでしょう!? 10? 20? はたまた100? 熱心な読者のアナタは知っているはず! そう、vol.2に載っていましたよね（答えは裏表紙）。

数多くの遺跡から、本号で紹介するのは古墳時代前期～中期の遺跡。ふだん何気なく通過しているあの場所も遺跡かも知れません。現在の地図と見比べると、新しい発見があるかも! 遺跡についてもっと詳しく知りたい方は、埋文センターへ!



Tsukinowadaira

月の輪平遺跡 (消滅)

つきのわだいらいせき

富士宮市星山

調査年 /
1970年・1971年
1972年 1981年



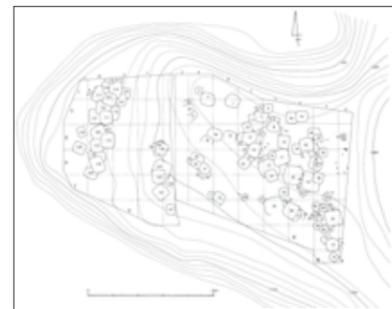
古墳時代前期の拠点集落

月の輪平遺跡は、星山放水路の建設で調査された遺跡です。星山谷に大きく突き出した舌状の台地に営まれた集落の跡が見つかっています。台地の上では竪穴建物跡 117 棟、掘立柱建物跡 2 棟が確認されました。集落は、6 時期にわたる変遷がたどれるものとなっています。1 時期に竪穴建物 5 棟ほどのグループが 2~3 単位で構成され

ていたと考えられます。集落は何度か火災を被ったことも分かっており、集落の最終期にも火災の影響がうかがえます。

この遺跡は古墳時代前期に登場しています。遺跡の登場に伴い、煮炊きに使われた土器は、伊勢湾西岸の影響を受けて新たに作られた「S字状口縁台付甕だいづきがめ」でした。

報告書 / 『月の輪遺跡群』1981年
『月の輪遺跡群Ⅲ』1982年



発掘調査全体図



重複する竪穴住居跡



遺跡遠景 (第2次調査)

Tsukinowadaira



1



2

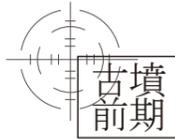
1 S字状口縁台付甕
伊勢湾西岸の影響を受けて古墳時代前期に登場する台付甕

2 小型高坏・器台 (後)・小型壺 (左)・小型罎 (右)
小型の土器群と小型罎。いずれも祭にかかわる儀礼に使われたと考えられるもので、古墳時代前期を特徴づける



銅鍬と鉄鍬 (上) と小型鍬 (下)

Tsukinowadaira



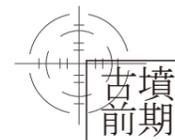
Tsukinowashita 月の輪下遺跡

(消滅)

つきのわしいせき

富士宮市星山

調査年 / 1972 年



Kanzo 神祖遺跡

かんぞいせき

富士宮市小泉

調査年 / 2008 年



河岸段丘の特殊な集落

月の輪下遺跡は、月の輪平遺跡が位置する舌状台地の裾に作られた星山谷の河川段丘に営まれた小集落です。星山橋の北側の放水路地内に、竪穴住居跡4棟と集石遺構 11 基が見つかりました。竪穴住居は方形の平面形で6本の柱穴が見られ、この時期の一般的な住居とは大きく異なります。住居廃絶後には住居内に多くの石が

投げ入れられたり、巨石の周りに集石を散りばめるなど、多くの集石遺構が住居の周囲に築かれています。

同時期にありながら、台地上の月の輪平遺跡とは全く様相が異なり、何らかの祭祀性を持った極めて特殊な集落が営まれていたと言えます。

報告書 / 『月の輪平遺跡群』1981 年



6本柱竪穴住居跡



住居廃絶後の集石跡



巨石周囲の集石跡



発掘調査全体図



発掘調査区全景

Tsukinowashita

山麓の集落

神祖遺跡は、上小泉八幡宮の東側の細長い丘陵に広がる古墳時代前期の遺跡です。竪穴住居跡 14 棟、溝状遺構2条などが見つかりました。竪穴住居の多くは重なりあい、数回の建て替えが行われた大集落が想定されています。本遺跡をはじめ、小泉から大岩にかけては丸ヶ谷戸遺跡や上石敷遺跡、峯石遺跡などの有力な遺跡が築

かれています。このような沖積平地から離れた水田可耕地が期待できない山麓の丘陵の遺跡の発展には、ヒエ、アワなどの畑作の技術向上があったと言われます。

報告書 / 『神祖遺跡』2009 年



発掘調査全体図



遺跡周辺地形図

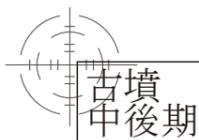


発掘調査区近影 (東側)



台付甕と壺 (右)

Kanzo



Kitakanda 北神田遺跡

きたかんだいせき

富士宮市大宮

調査年 /
1984年・1995年
1997年・1998年
2012年



大宮城の下に眠る集落

北神田遺跡は、大宮小学校を中心にして築かれた大宮城の普請で壊された、市内でも数少ない古墳時代中期～後期の遺跡です。主郭（校庭）を取りまく大堀の南側一帯に堀削を免れた竪穴住居跡18棟が見つかりました。住居の重なりはさらに南から西へ広がる様子が見え、大集落が予想されます。湧玉池の西側に古墳時代前期

の生活痕が微かに見られますが、本格的に現在の市街地に進出した最初の遺跡と言えます。さらに、カマドを付けた竪穴住居跡5棟も見つかり、古墳時代後期に大きな集落を築いていたことが明らかになっています。

報告書 / 『元富士大宮司館跡』2000年
『元富士大宮司館跡II』2014年



大堀に切られた竪穴住居跡



大堀と竪穴住居跡重複図



かっせきせいまがたま くだだま
滑石製勾玉と管玉 (右3点)



須恵器杯と土師器杯 (右2点)



鉄鏃

遺跡から富士宮の原始・古代を考える 邪馬台国時代の富士宮

II. 邪馬台国時代

日本列島は、3世紀に弥生時代から古墳時代に移り変わります。富士宮の地域でも、遺跡に大きな変化が表れます。丸ヶ谷戸古墳の登場は、それを象徴する出来事のひとつと捉えることができます。

丸ヶ谷戸古墳は、全長26mを測る墳墓です。2つの四角の丘を連結させたような形をした前方後方墳と呼ばれるものです(第1図)。手前の前方部と奥の後方部は1:2の比率で造られた規格的な形を示すものとなっていました。古墳の周りは、最大幅4m、深さ1.2mを測る溝が巡っています。この溝を掘削した際の土を盛土として墳丘と呼ばれる小丘を築くことで、古墳本来の形となっていたと考えられます。

後方部は埋葬を行った部分と考えられます。残念ながら墳丘は後世の削平により失

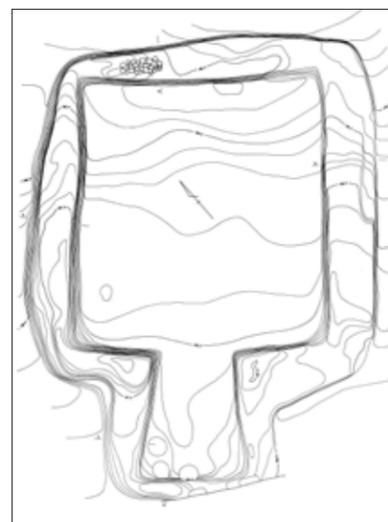
われており、そこに築かれた埋葬主体も見つかっていません。前方部は、埋葬に関わる儀式の場ではなかったかと考えています。ここで亡くなった首長から新たな首長へ権力の継承に関わる儀式が行われたもので、丸ヶ谷戸古墳の登場により地域支配を行う首長の存在が指摘されるのです。それは、大きな墳墓を造ることができた勢力の証でもあり、周囲の村々に住む人々に対して、その大きさをもって視覚的に勢力を誇示したものとなっていました。

丸ヶ谷戸古墳に葬られた首長が住んでいた集落は、どのようなものであったか、どのような場所で政治を行っていたのか、次回は古墳時代前期の集落の実態について少し考えてみようと思います。

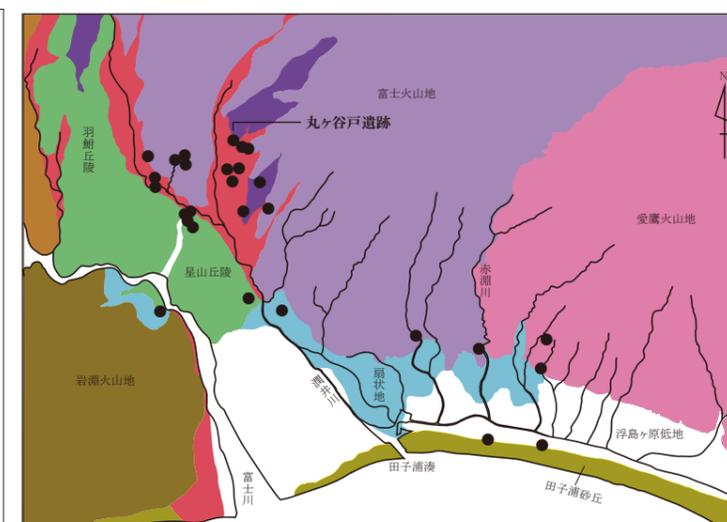
学芸員の連載コラム 考古学への招待



渡井英誉
富士宮市埋蔵文化財
センター学芸員



第1図 前方後方墳



第2図 遺跡の分布図

次号の案内

富士宮市内で見つかった遺跡
古墳から古代へ

埋文センターからのお知らせ

『大鹿窪遺跡』の発掘を行っています 令和2年8月～10月

大鹿窪遺跡整備のための発掘調査を行っています。現場（富士宮市大鹿窪 1543・1544）では、作業の様子を見ることができます。（現地説明会を行う場合は別途お知らせします）

郷土資料館の展示がリニューアルしました

縄文時代から近代までの富士宮の歴史が学べます。

場所：富士宮市立郷土資料館（富士宮市民文化会館1F）

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎週月曜日（第3月曜は除く）、年末年始

入場無料

2020 静岡県考古学会シンポジウム発表要旨集

『縄文時代草創期の初期定住とその環境—富士山麓からの視点—』発売中

編集・刊行：静岡県考古学会

頒価：1,300円

著者：小林謙一、橋詰潤、池谷信之、深澤麻衣、村上昇、藤山龍造

注文方法：静岡県考古学会 シンポジウム実行委員会宛（FAX 0544-65-2933）に注文の
FAXをお送りください。在庫確認後、支払方法等をご連絡いたします。

富士宮市埋蔵文化財センター

ご利用案内

所在地 〒419-0315

静岡県富士宮市長貫 747-1

電話 0544-65-5151

FAX 0544-65-2933

E-mail maibun_center@city.fujinomiya.lg.jp

展示室

開館日 平日

* 祝日及び年末年始（12月28日～1月3日）は休館

開館時間 9:00～17:00（入館は16:30まで）

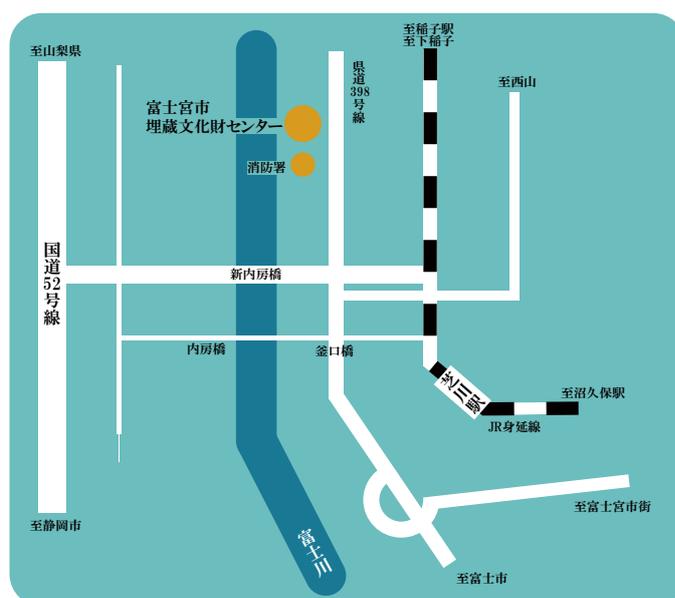
* 埋蔵文化財センターの業務時間は
8:30～17:15

見学料 無料

駐車場 あり（無料）



交通案内



富士宮市埋蔵文化財センターだより

埋文ふじのみや Vol.10

令和2年9月

編集／発行 富士宮市埋蔵文化財センター

※『埋文ふじのみや』はバックナンバーを含め、富士宮市のホームページでご覧になれます

表紙のクイズの答え：248ヵ所